

45.石老山（神奈川県北部 標高 694m）

石老山は、相模湖町寸沢嵐地内で、相模湖の南東に位置しています。巨大な奇岩・怪石に富んでいるところから、この辺一帯を石老山という名がつけられました。このコースは、県立陣馬相模湖自然公園内で東海自然歩道にもなっていて、自然探索には大変良い所です。特に岩石に興味のある方にとっては、お勧めの場所かと思われま

す。
石老山入口バス停で下車し、人家や畑が散在しているのどかな集落の中を、カワラヒワ、ホオジロなどのさえずりを聞きながら進みます。春にはキジ、秋にはモズやジョウビタキが迎えてくれるでしょう。南方に約 30 分歩いて行くと、石老山表参道入口という案内板が目に入ります。ここが広小路で、昭和 10 年に神奈川の名勝史蹟五十五佳選に入賞した記念の石碑「石老山」があります。ここからが本格的な散策コースとなります。

スギ・モミ・ケヤキなどの鬱蒼とした大木の中を登ると、まもなく第 3 紀地層の礫岩である巨大な奇岩・怪石が次々に現われてきます。20 余あるコケむした奇岩には、その形にふさわしい興味ある名前がつけられた解説板が立っています。その一部を紹介しますと、まず不動岩、仁王岩、大きな屏風岩、力持ちの人達が力試しをしたと伝えられる力試岩、十字が刻まれて

いる文珠岩など。さらに顕鏡寺山門の左脇には、道志法師・源海法師が住居としたといわれる岩窟があり、大天狗岩、鏡岩、弁慶の力試岩、奥の院を覆いかぶさるように突き出している擁護岩、腕のたつ武士が大刀で試し切りをしたと伝えられる試岩などが続き、最後に八方岩に登ると東南方面の眺望が雄大です。

途中・山の中腹にある顕鏡寺に参拝し、メジロ、カラ類、コジュケイの鳴き声に耳を傾けます。この顕鏡寺の境内には、注目すべき樹木が 2 本そびえ立っています。その 1 本は、かながわ名木 100 選に選定された樹高 42m・樹齢 400 年の「顕鏡寺のイチョウ」で、県内では最も高いイチョウです。また、巨大な 2 本の露出した根が大蛇のように見えることからその名が付けられた、樹高 30m・樹齢 400 年の「蛇木杉」です。

コースの両側は比較的スギ、ヒノキの



石老山山頂

所要時間 3 時間 30 分
地形図：1:25,000 与瀬、青野原 案内図：丹沢（裏面）（昭文社）

季節

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

45.石老山（神奈川県北部 標高 694m）

植林地が続きますが、融合平見晴台で相模湖の景色を眺めながら汗を拭いて休みします。

最近、急激に増えたガビチョウやソウシチョウの声を気にしながら登ると、石老山(標高 694.3m)の山頂に到着します。視界が開けて、正面には丹沢山塊、右手には富士山、道志山地が迫り、そして左手奥に宮ヶ瀬湖がかすかに望めます。

下山は2つのコースがあります。一般的には、大明神展望台で遠く南アルプス連峰を眺め、箕岩

橋を經由してピクニックランド前に入るコースと、少し遠いかもしれないが篠原、石砂山、伏馬田を經由して国道 413 号線の西野々に出るコースです。
(塩沢徳夫)



観察できた鳥 (1999年1月~2000年10月 定点観察より)

トビ・ハイタカ・オオタカ・ハヤブサ・カルガモ・コジュケイ・キジ・キジバト・アオバト・ツツドリ・ホトトギス・コゲラ・アオゲラ・ツバメ・イワツバメ・キセキレイ・ハクセキレイ・セグロセキレイ・ビンズイ・ヒヨドリ・モズ・ルリビタキ・ジョウビタキ・トラツグミ・クロツグミ・シロハラ・ツグミ・ヤブサメ・ウグイス・メボソムシクイ・センダイムシクイ・キクイタダキ・キビタキ・オオルリ・エナガ・コガラ・ヒガラ・シジュウカラ・ヤマガラ・メジロ・ホオジロ・アオジ・カワラヒワ・ウソ・イカル・スズメ・ムクドリ・カケス・オナガ・ハシボソガラス・ハシブトガラス・ガビチョウ・ソウシチョウ (53種)

あし

- ・ JR中央本線相模湖駅下車 神奈川中央交通バス 三ヶ木行き 石老山入口下車
- ・ 交通機関問い合わせ先：ページ 117 参照